

岡山県支部

「桃太郎賞（中小企業経営品質賞）」に見る元気企業の秘密に関する調査・研究

（社）中小企業診断協会岡山県支部の若手診断士の勉強会である「ISO研究会」は、1998年に発足し、「中小企業のためのISO14000解説書」を共同執筆した。つづいて1999年には、バーチャルカンパニー「（株）桃太郎電器」をモデルに「中小企業のための環境マネジメントシステム構築の手順書」を作成し、2001年には「中小企業のための経営品質賞（桃太郎賞）の創設についての調査・研究」を、2003年には「中小企業のためのやさしい能力・成果主義人事制度の導入」を執筆した。

今年、2001年に作成した「桃太郎賞（中小企業のための経営品質賞）のチェックリスト」を使用し、勝ち組み企業と負け組み企業の色分けがはっきりしてきた現在、経済構造変化に対応し経営革新に取り組み、新事業を開拓している「元気な中小企業」の秘密を、鳥取県と岡山県の10社の中小企業を訪問し、探ってみた。

第1章「桃太郎賞について」と第3章「まとめ」は「増田」が執筆し、第2章「桃太郎賞に見る元気企業の強み」は、（株）オージー技研を「増田」が、倉敷ボーリング機工（株）を「藤原」が、（株）ササヤマを「森安」が、（株）中村商店を「栗田」が、日本ランドメタル（株）を「藤原」が、（株）ヒノキを「今井」が、（株）漂流岡山を「森安」が、（株）備前化成を「國米」が、（株）マエノを「柳井」が、（有）リーベックスを「布野」が、それぞれ手分けして執筆した。

「桃太郎賞」では、いまやグローバルスタンダードとなったISO9000（品質マネジメントシステム）/ISO14000（環境マネジメントシステム）をベースに、経営品質を次のように6つのマネジメントシステムに分けてとらえ、評価している。

項目	質問数	満点	合計
トップのリーダーシップ	10	20	200
ナレッジマネジメント	15	10	150
マーケティングマネジメント	30	5	150
品質マネジメント	30	5	150
環境・安全マネジメント	30	5	150
財務マネジメント	10	20	200
合計	125	-	1,000

元気企業に共通する桃太郎賞の強みは、「トップの熱い思い（トップマネジメント）」、「時代の流れを読む目（マーケティングマネジメント）」、「品質への強いこだわり（品質マネジメント）」にあると考えられる。各社ともこの3つのマネジメントのどれかが強みになっている。企業によっては2つまたは3つとも強みと言えるかもしれない。